

日本珪藻学会第43回研究集会（琵琶湖博物館）プログラム

期日：2024年10月19日（土）～20日（日）

会場：滋賀県立琵琶湖博物館 セミナー室（滋賀県草津市下物町1091）

学会会長：大塚泰介

研究集会実行委員長：根来 健

【10月19日（土）午後】

12:30～ 受付開始

13:20～13:30 開会 学会会長・研究集会実行委員長挨拶 大塚泰介・根来 健

《口頭発表》【座長 辻 彰洋】

13:30～13:45 ①潮間帯における付着珪藻と基質の保水性の関係

山中琢翔*・神谷充伸・鈴木秀和（海洋大・院・藻類）

13:45～14:00 ②北米における新生代の珪藻化石調査

齋藤めぐみ（科博），林 辰弥（九州大・比文），羽田裕貴（産総研），William Krebs（Independent Researcher）

14:00～14:15 ③*Thalassiosira lindstroemii*の分類と形態

林 辰弥（九州大・比文）

14:15～14:30 写真撮影・休憩

《ポスター発表》【進行 山本真里子】

14:30～15:50 プレゼンテーション（発表5分+質問5分）

P1 基質海藻の形態の違いが海藻付着珪藻の群集構造に及ぼす影響

岡本俊哉*・神谷充伸・鈴木秀和（海洋大・院・藻類）

P2 東京湾京浜運河における付着珪藻の垂直分布と環境条件の関係

倉澤俊之*・鈴木秀和・神谷充伸（海洋大・院・藻類）

P3 ウミクサビケイソウ属 *Gomphonemopsis* の系統と分類

吉永森羅*・菅原一輝・神谷充伸（海洋大・院・藻類），長田敬五（日歯大・新潟・生物），鈴木秀和（海洋大・院・藻類）

P4 海草アマモ・コアマモ葉上から出現した *Cocconeis* 属未記載種の形態と分類

吉儀彰太郎*・吉永森羅・菅原一輝（海洋大・院・藻類），長田敬五（日歯大・新潟・生物），神谷充伸・鈴木秀和（海洋大・院・藻類）

P5 滋賀県立大学内の水路における付着珪藻相

畑中 顕・井上聖花・吉山浩平（滋賀県大・環境），大塚泰介（琵琶湖博）

P6 兵庫県三田市土壌より単藻化した2種のTAG 高蓄積珪藻の同定と脂質解析

豊島正和・松田祐介（関西学院大・生命環境）

P7 おとめが池の珪藻

塚 真砂美・西田千尋・木嶋久美子・天田 啓（福工大・生環）

P8 九州における *Sellaphora constricta* の出現について

福留真樹（環境テクノス），大塚泰介（琵琶博）

15：50～16：20 ポスター発表・自由質問時間

16：20～16：30 最優秀発表表彰式（発表者右肩の*は選考対象者）

18：15～20：15 懇親会

【10月20日（日）午前】

《ポスター発表》【進行 富 小由紀】

10：10～10：25

P9 *Frustuliopsis* gen. nov. : Reconsideration of the generic characteristics of *Frustulia* Rabenhorst and related genera

中村美穂（東京学芸大），真山茂樹（東京珪学研），吉田輝明（UMS）

《公開シンポジウム》「珪藻が出ない！」 【会場＋オンライン開催】

10：30～10：40 シンポジウム趣旨説明

コーディネーター： 大塚泰介（琵琶博）

10：40～11：00 古環境復元で珪藻が出ずに困った事例いろいろ

石川 智（パレオ・ラボ）

11：00～11：20 「珪藻が出ない！」って、よくあるよね

森 勇一（東海シニア自然大学）

11：20～11：30 メソポタミア遺跡の粘土板文書・コア・トレンチからの珪藻の検出

辻 彰洋（国立科博・植物），渡辺千香子（大阪学院大）

11：30～11：50 栄養細胞の殻が堆積物中に残りにくい珪藻の情報をいかにして得るか

石井健一郎（Seed Bank）

11：50～12：10 環境調査において過少評価される淡水産浮遊珪藻類とその特性

根来 健（琵琶博）

12：10～12：30 珪藻が出ないと有害有毒鞭毛藻赤潮が出る

今井一郎（琵琶博・北大）

12：30～12：55 総合討論

12：55～13：00 閉会挨拶 研究集会実行委員長 根来 健